

国立大学法人愛知教育大学教育・学習データ利活用ポリシー

2025年1月28日

役員会決定

1. 教育・学習データ利活用（EDU: Educational Data Utilization）宣言

国立大学法人愛知教育大学（以下「本学」という。）は、日々の教育や学習に関するデータを取得し、そのデータを安全な方法で保持・分析を行い、客観的データに基づいて教育改善や学生等の学習支援を図るとともに、データ利活用から得られた成果を公開し、広く社会に還元します。

2. 教育・学習データ取扱原則

本学は、以下の原則に従い、個人情報保護法などの関係法令を遵守し、プライバシーを尊重するとともに、教育・学習データを個人情報として取り扱い、その権利者の意向に最大限配慮して運用します。

- （1）データを取得する際に利用目的及び利活用の方法を明示するとともに、取得したデータは目的外には使用しません
- （2）分析対象となることへの同意取り下げに応じ、また、これによって不利益が生じることはありません
- （3）個人情報保護法などの関連する法令を遵守します
- （4）自身のデータに関する確認の要請に応じます
- （5）取得したデータの分析結果の公表については個人が特定されないようにします
- （6）取得したデータの流出を防ぐため、適切な安全管理措置を施します
- （7）取得したデータを利活用して得られた知見等は、公表することにより、広く社会に還元します

3. 高等教育機関における教育・学習データの利活用に関するガイドライン

(趣旨)

本学は、一機関の教育の改善のみならず、我が国の高等教育、ひいては広く社会に還元するために、関連法令の遵守のもと、教育・学習データを有効に利活用するためのガイドラインを以下のように定めます。

(目的)

教育・学習データは、その分析や可視化などにより、教育・学習の支援や大学の運営改善などを図るとともに、データ利活用から得られた成果を公開し、広く社会に還元するために利用するものとし、個人に不利益が生じる恐れのある場合を除き、これ以外の目的には利用しません。

(教育・学習データの取得)

学生及び教職員（以下「データ提供者」という。）に、取得する目的及びデータ項目（別表第1）を明示し、かつ同意を得た後に教育・学習データの取得を行います。データ提供者はいつでも同意を取り下げることができるものとし、取得するデータ項目に変更がある場合にはその内容をウェブサイト等で告知します。

(教育・学習データの管理)

取得した教育・学習データは個人情報であり、個人情報の保護に関する法律などの関係法令や本学の関連規程等に従い、適切に管理します。

データ管理責任者はIR室長とし、問合せ窓口は企画課とします。管理している教育・学習データの閲覧と分析ができるのは申請に基づき許可を得た本学教職員のみとします。

(教育・学習データの利活用)

教育・学習データの閲覧、分析を含む利活用の方法（別表第2）をデータ提供者に明示し、変更がある場合にはその内容をウェブサイト等で告知します。

(研究成果の公開)

教育・学習データを利活用して得られた知見等は、広く社会に還元するために公開します。なお、教育・学習データを学術研究に用いる場合は、本学の研究倫理に関する規程に準じます。

(その他)

本ガイドラインに定めるもののほか、教育・学習データの利活用に関し必要な事項は、別に定めます。

別表第 1

データ種類	データ項目
人的データ	学生番号、氏名、生年月日、性別、所属、学年、入学年月日、 離籍年月日、国籍、出身校、学籍異動履歴
キャリア支援データ	進路、面談記録、教職志望度
教務データ	学校名、対象学年、科目名、講義日時、時間割、シラバス、 指導教員、学位、学位論文
授業設計データ	教育目標、シラバス（授業計画）、指導内容
成績データ	最終成績評価、単位数、出欠、小テスト・問題集の点数、 レポート点数、TOEIC スコア、入試情報
質問紙調査	選択肢・記述アンケート
記述データ	ノート、レポート、黒板の記述内容、e ポートフォリオ
課題データ	小テストの問題、解答、回答の手書きデータ、解説、 レポート課題の説明
教材接触データ	デジタル教材（デジタル教科書、ビデオ等）の閲覧時間、 教材へのメモ、ブックマーク、下線
LMS データ	LMS のログイン履歴、レポート提出時間、電子掲示板、 小テスト回答時間
情報システム等 利用情報	ネットワークへの接続履歴、通信履歴、 情報システムへのアクセス履歴、認証履歴、 利用機器・アプリケーション
環境情報	教室の温度、映像・音声、天候などの環境データ
健康・生体情報	脈拍、睡眠時間、視線・加速度センサ等のセンサ情報、 健康診断データ、歩数等の運動量・食事等の日々の生活データ

別表第2

【教育・学習データの利用例】

個人単位

- (1) 個人に適した教材・問題の提供による教育・学習効果の向上
- (2) アットリスク学生、成績などの予測による教師支援
- (3) 個人の学習履歴の可視化、セルフリフレクションの支援
- (4) 個人の学習履歴を用いたグループ作成やグループ活動支援
- (5) 記述アンケートや e ポートフォリオの分析による学生の特徴分析
- (6) モーションセンサー、視線情報などを用いたスキル獲得支援
- (7) 健康状態、運動状況と学習状況との関係性の解明
- (8) 映像や生体情報から学生の認知・心理状態の把握
- (9) キャリア設計・生涯教育の支援
- (10) 教職志望度の変容と卒業後の進路との関係性の解明

組織単位

- (11) 次の学期の教材の改訂や授業改善
- (12) 学生等の最適な配置
- (13) 年度単位のコースや学科、学部のカリキュラムの改善
- (14) 年度単位のコースや学科、学部の学生の特徴を比較
- (15) 入試制度の改善